



文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究

「法と人間科学」 中間報告書

平成 25 年 3 月 31 日

目次

総括班

- 仲真紀子
新学術領域研究「法と人間科学」 2011年度・2012年度 活動報告 1

A01：法意識と教育

唐沢穰 班 【責任概念の素朴理解と非難を規定する心理過程の解明と法的概念の教育方法の考案】

- 唐沢穰
責任概念の素朴理解と非難を規定する心理過程の解明と法的概念の教育方法の考案 9
奥田太郎
責任概念の分類と内実 —瀧川裕英の分析に基づいて— 12
膳場百合子
社会心理学における責任判断モデル 15
松村良之
DWI Court、RISE プロジェクト 18
村上史朗
規範逸脱の「相場観」：記述的規範の効果の検討 22

河合幹雄 班 【厳罰化と死刑の効果を信じる人々はどうすれば意見を変えるのか】

- 河合幹雄・葛野尋之・木下麻奈子・平山真理・久保秀雄・木村正人
犯罪と刑罰についての知識と熟慮が意見を変えさせることの検証方法について—中間報告 26

長谷川真里 班 【小学生対象の民主主義理解教育の提案とその効果検証】

- 長谷川真里
公募班（小学生対象の民主主義理解教育の提案とその効果検証）本年度の活動報告 30

A02：捜査手続き

高木光太郎 班 【虚偽自白発生防止機能を組み込んだ被疑者面接技法の開発】

- 高木光太郎・森直久・大橋靖史・脇中洋
被疑者面接のコミュニケーション・デザイン
～Reid テクニック、PEACE アプローチ、日本型取調べの比較検討～ 32

巖島行雄 班 【目撃証言の正確さを規定する要因および正確さを担保する識別・尋問方法に関する研究】

- 高橋雅延・川口敦生・北神慎司
車の目撃記憶とソース記憶 38
山田涼馬・巖島行雄
記憶に及ぼすスキーマの影響 41
白川徹・巖島行雄
凶器注目効果における視覚的注意の検討 —眼球運動を指標として— 46
山田寛・高橋望
顔の再生が顔の識別に及ぼす効果 51
原聰
識別後フィードバックが遅延写真識別の確信度に与える効果及び二重盲検法の基礎的研究 53
福島由衣・伊藤令枝・室井みや・巖島行雄
ラインナップ識別後の目撃者に対する肯定的フィードバック効果の検討 55
北神慎司・遠藤菜文・池田賢司・高橋知世
非言語音による発話者の同一性識別 61

佐藤達哉 班 【三次元地層モデリングを用いた供述過程の可視化システムの構築】

- 佐藤達哉・稲葉光行・岡田悦典
供述の三次元地層モデリング 63

A03 : 裁判員裁判

伊東裕司 班 【裁判員の判断過程に影響する情動的, 認知的, および社会的影響に関する研究】

松尾加代・伊東裕司

感情を喚起する情報が模擬裁判員の実事認定判断とネガティブ感情に及ぼす影響 6 8

松尾加代・伊東裕司

マインドセットと説示の効果: システマティック情報処理が判断と怒りに及ぼす影響 7 3

伊東裕司・松尾加代・藤田政博・淵野貴生・中川孝博・赤坂有紀

裁判員の実事認定における感情の影響: 被害者意見陳述の影響と感情制御の効果 7 7

淵野貴生

裁判員裁判と量刑予断の防止 8 2

指宿信 班 【取調録画と裁判員裁判-取調べ過程の可視化をめぐる制度構築と裁判員裁判への影響】

指宿信

取調べとその可視化 8 8

佐伯昌彦 班 【裁判員裁判における量刑審理・評議の在り方】

佐伯昌彦

裁判員裁判における量刑審理・評議に関する心理学的考察 9 4

石崎千景 班 【公判の「振り返り」が裁判員による情報の重みづけに及ぼす影響の検討】

石崎千景

公判の「振り返り」が裁判員による情報の重みづけに及ぼす影響の検討 9 8

山崎優子 班 【検察審査員の判断を規定する要因および判断に至る心的プロセスについての実証的研究】

山崎優子

検察審査員の判断に関する実証的研究 1 0 0

A04 : 司法と福祉

仲真紀子 班 【子どもへの司法面接: 面接法の改善その評価】

仲真紀子

子どもへの司法面接: 改善その評価・中間報告 1 0 6

白取祐司

刑事裁判における心理鑑定の可能性 1 1 0

城下裕二

情状鑑定の現状と課題 1 1 6

石塚伸一 班 【犯罪者・非行少年処遇における人間科学的知見の活用に関する総合的研究】

石塚伸一

犯罪者・非行少年処遇における人間科学的知見の活用に関する総合的研究 1 2 2

櫻井義秀 班 【カルト被害の救済と回復-レジリアンスの視角から】

櫻井義秀

大学のカルト対策 1 2 6

唐沢かおり 班 【犯罪被害者の心の推論と支援的環境の構築】

唐沢かおり・白岩祐子・小林麻衣子

犯罪被害者の心の推論と支援的環境の構築 1 2 9

安田裕子 班 【DV被害母子支援の地域連携-福祉・心理と司法の融合に向けたアクションリサーチ】

安田裕子

DV被害母子への支援とその連携可能性(中間報告) 1 3 3

田中晶子 班 【司法面接における子どもの語り: 質問形式と応答の関係性について】

田中晶子

司法面接における子どもの語り: 質問形式と応答の関係性について(予備調査報告) 1 3 8

文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究
「法と人間科学」 中間報告書

発行 2013年3月31日

発行者 北海道大学大学院文学研究科

法と人間科学 総括支援室

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目 E402室

TEL : 011-706-3912

E-mail : lahs@let.hokudai.ac.jp

HP : <http://law-human.let.hokudai.ac.jp/>

編集責任 仲真紀子

印刷・製本 北海道大学生生活協同組合 印刷・情報サービス部

TEL : 011-747-8886

FAX : 011-756-7971

March 31, 2013

Grant - in - Aid for Scientific Research on Innovative Areas
(Research in a proposed research area)

Humanities and Social Sciences
Law and Human Sciences
Progress Report

Support Center of Law and Human Sciences
Graduate School of Letters, Hokkaido University
Kita 10, Nishi 7, Kita-ku, Sapporo, 060-0810 Japan

